

公共事業等施行状況調（令和4年7月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (7月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	23,764	24,949	16,811	15,541	5,616	33.4	7,201	46.3	
2	農林・水産	32,757	30,983	24,654	22,974	8,712	35.3	7,493	32.6	
3	道 路	53,793	51,830	33,860	30,712	15,594	46.1	18,894	61.5	
4	港湾・空港	7,082	6,973	2,983	3,319	1,726	57.9	1,652	49.8	
5	下水道・公園	9,868	9,525	2,732	2,468	422	15.4	478	19.4	
6	住 宅	1,489	1,805	1,045	1,309	735	70.3	918	70.1	
7	庁 舎	2,467	3,623	2,315	3,356	1,440	62.2	1,299	38.7	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	5,802	20,029	4,519	16,331	1,526	33.8	3,230	19.8	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	84	102	50	59.5	17	16.7	
12	災害復旧	602	211	457	203	105	23.0	108	53.2	
13	その他	7,521	8,966	4,255	6,507	1,616	38.0	3,169	48.7	
	計	146,093	159,928	93,714	102,823	37,543	40.1	44,458	43.2	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年7月末）

（単位：社、件、百万円、％）

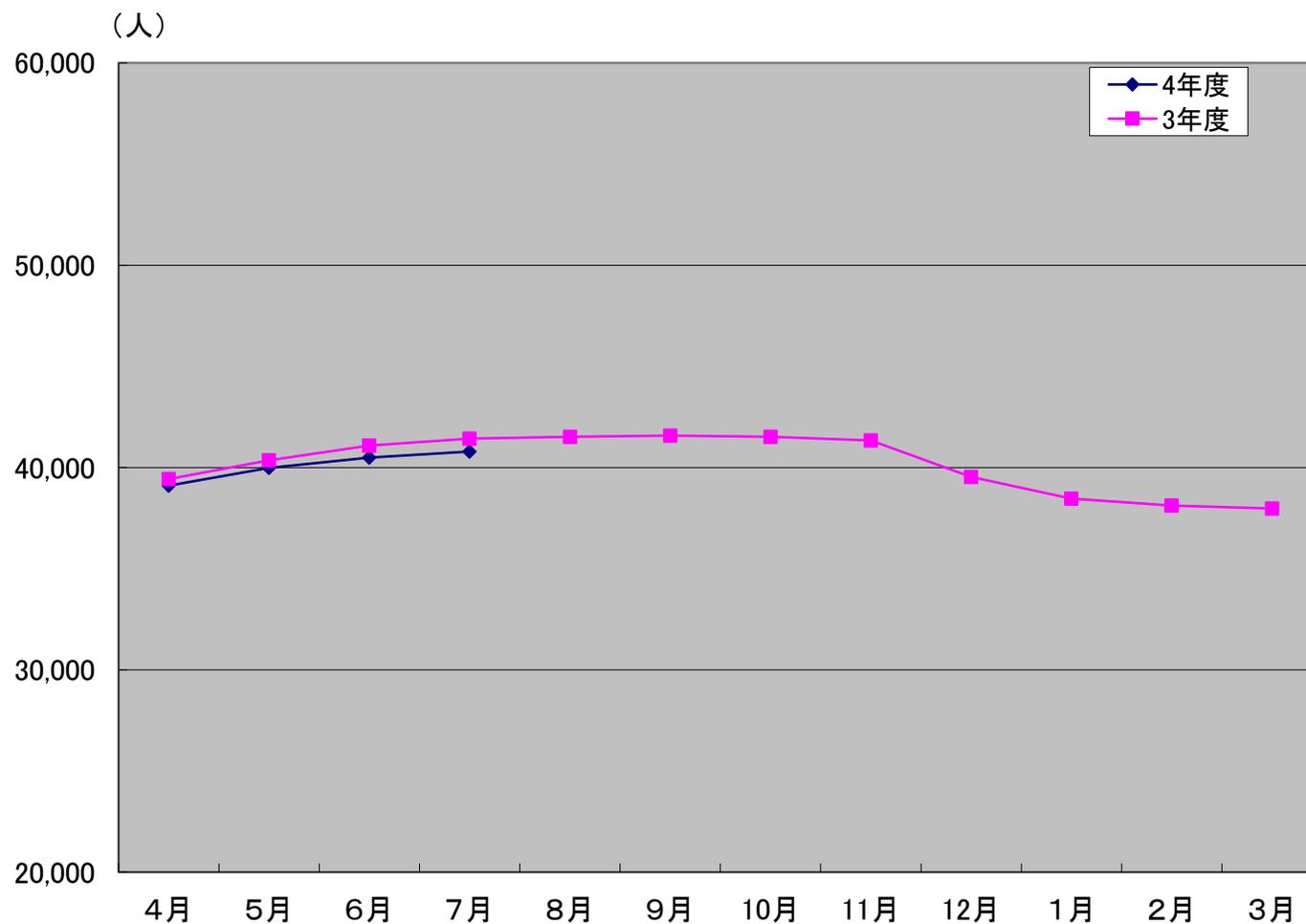
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
4年度	146,093	93,714	9,697	947	37,545	9,489	896	32,589	166	37	2,147	42	14	2,809
					B/A 発注率 40.1	C/B 97.9			D/B 1.7			E/B 0.4		
前年度比	91.3	91.1	80.9	80.5	84.4	81.0	80.1	87.1	82.6	86.0	77.8	65.6	87.5	65.7
3年度	159,928	102,823	11,986	1,177	44,458	11,721	1,118	37,419	201	43	2,761	64	16	4,278
					B/A 43.2	C/B 97.8			D/B 1.7			E/B 0.5		

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月		41,521
9月		41,577
10月		41,516
11月		41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	40,493
資格取得者数	702
資格喪失者数	425
転入者数	29
転出者数	9
今月末被保険者数	40,790

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)7月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年8月)

	需給動向												価格動向												備 考	
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前			八戸			県平均				
	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落																				
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の6月の販売量は3万5千トン(セメント協会調べ)で前年同月比6.1%の減。メーカー各社は当初目標の値上げ額を早期に達すべく、需要家との交渉を継続。一方で、石炭価格の高騰や円安など急速なコスト増加が自助努力では吸収できないとして、追加値上げを打ち出した。主たる需要家の生コンメーカーは、状況を理解しつつも、1年に満たないなかでの相次ぐ値上げに難色を示している。目先、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			農業土木向け、民間工事向けの需要が好調で昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出しているが、セメントの追加値上げ表明や石炭価格サーチャージ制度の導入など、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせている。需要家は値上げに難色を示しつつも安定調達を優先し、値上げの一部を受け入れた。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の7月の出荷量は5万7千m3(生コン工組調べ)で前年同月比19.4%の減。メーカー各社は、原材料の値上がりや輸送コスト増加による採算悪化回避のため、4月から1,000円以上の値上げを表明している。荷動きが精彩を欠くなか、採算悪化に危機感を抱くメーカー各社は、粘り強く交渉を継続。需要家は値上げに難色を示しつつも安定調達を優先し、弘前・八戸等で値上げが浸透した。原材料のセメントの追加値上げが打ち出されてる状況下、更なる値上げを検討しているメーカーもあるが、需要家は再三の値上げに慎重な姿勢である。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは、原油高による輸送コストの増加や電気料金の上昇を理由に追加値上げを表明している。需要家は短期間でさらなる値上げに対して、慎重な姿勢であるものの、社会情勢の変化に理解を示し受け入れる動きも見られる。両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、先行き、強含みの見通し。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり117,000円と前月比4,000円の下落。原料の鉄スクラップ価格は海外相場の軟化を受けて、7月以降も下落を続けた。メーカー各社は早期の採算改善を達成すべく、現行価格維持の姿勢を崩していない。一方、需要家は当用買いに徹しながら、割高な製品価格に対して、値下げ要求の姿勢を示し、流通筋が一部を受け入れた。鉄スクラップ価格が反発する気配は見られず、先安観から流通筋の販売競争が広がり始めている。目先、弱含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			7月の県内出荷量は6万2千トン(合材協会調べ)で前年同期比10.1%の減。原材料のスタース価格が過去最高値で推移するなか、メーカー各社は原材料価格上昇による採算悪化に危機感を強め、昨年度から複数回の値上げを表明。各地区1,000円以上の値上げが浸透したものの、満額浸透を目指し交渉を継続している。一方、需要家は手持ち工事が伸び悩むなかでの度重なる値上げの受け入れには、慎重な姿勢を示している。目先、横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり120,000円と前月比4,000円の下落。6月の県内新設住宅着工戸数は542戸で前年同月比5.9%の増加(国土交通省調べ)。ウエイの多い持家が前年同月比6.5%の減少、貸家が同93.7%の増加などとなっている。円安や資材高騰による住宅価格の上昇を背景に、全国的に持家の新設減少の傾向が顕在化。高値で推移してきた、ひのきや杉を中心に流通業者による売り急ぎの動きが強まった。目先、弱基調の見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり118円、重油はローリー渡りでリットル当たり79円ととも前月比3円下落した。中国のロックダウン後の内需不振や欧米の景気減速を受け、世界的に原油需要の減退観測が強まり原油相場は下落。これを受け元売り仕切価格は下落し、流通各社も追従した。原油相場はなおも不透明な状況が続き、ロシアのウクライナ侵攻を発端とするエネルギー資源の供給不安や世界経済の動きが今後も相場を左右するとみられる。目先、弱基調の見込み。
型枠合板			○			○				○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,250円と前月比100円の上伸。19カ月連続で値上がりの続いた。原材料の高騰に歯止めがかからず、現地価格が上昇。流通業者は仕入れ上昇分を販売価格に上乗せする取組みを継続している。現地の原木不足、労働者不足は改善しておらず、市中の品薄感は解消していない。夏場の天候不順で一時的に荷動きが鈍化しているものの、流通業者は入荷減少を背景に、売り腰を強める構え。先行き、強含みの見通し。	
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり128,000円と前月比2,000円の上伸。鉄スクラップ価格の大幅下落が続くなか、メーカー各社は販売価格の据え置きを表明し、価格優先の姿勢を崩していない。需要面では、地場物件の薄さ、鉄スクラップ安、需要家の手配様子見などから低調に推移しているものの、流通筋によるメーカー値上げ未転嫁分の値上げ交渉が進展し、続伸局面となった。今後、メーカーの夏季減産により需給タイト感は強まるとみられ、目先、強含みの公算大。

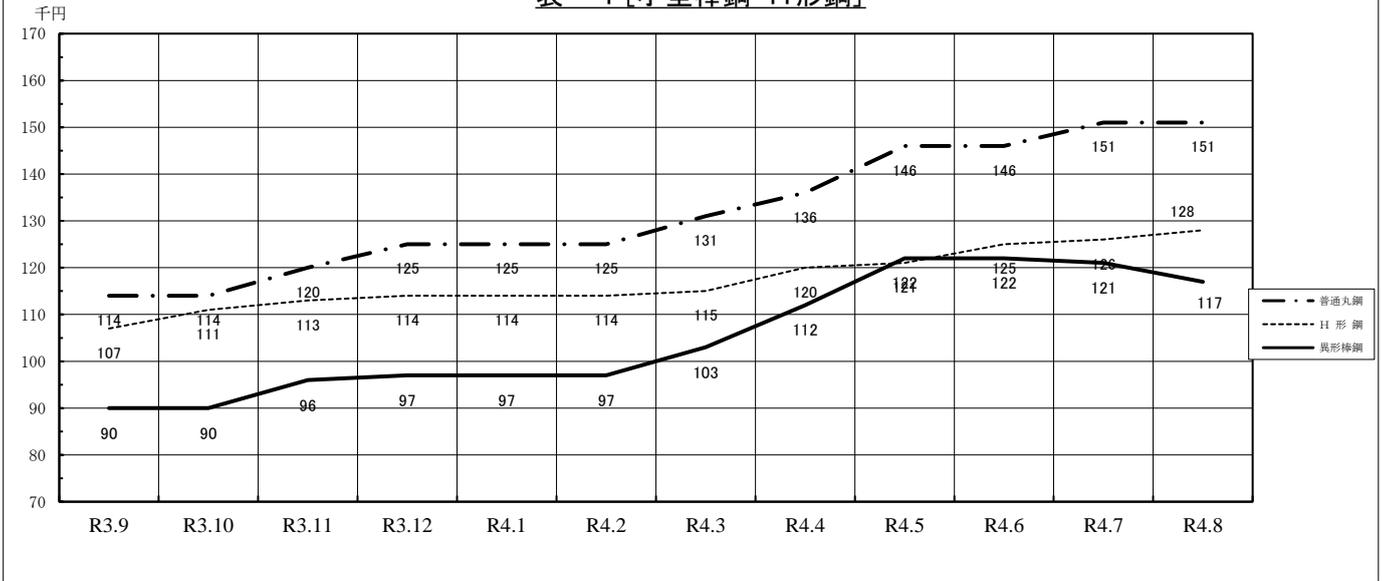
(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年8月)

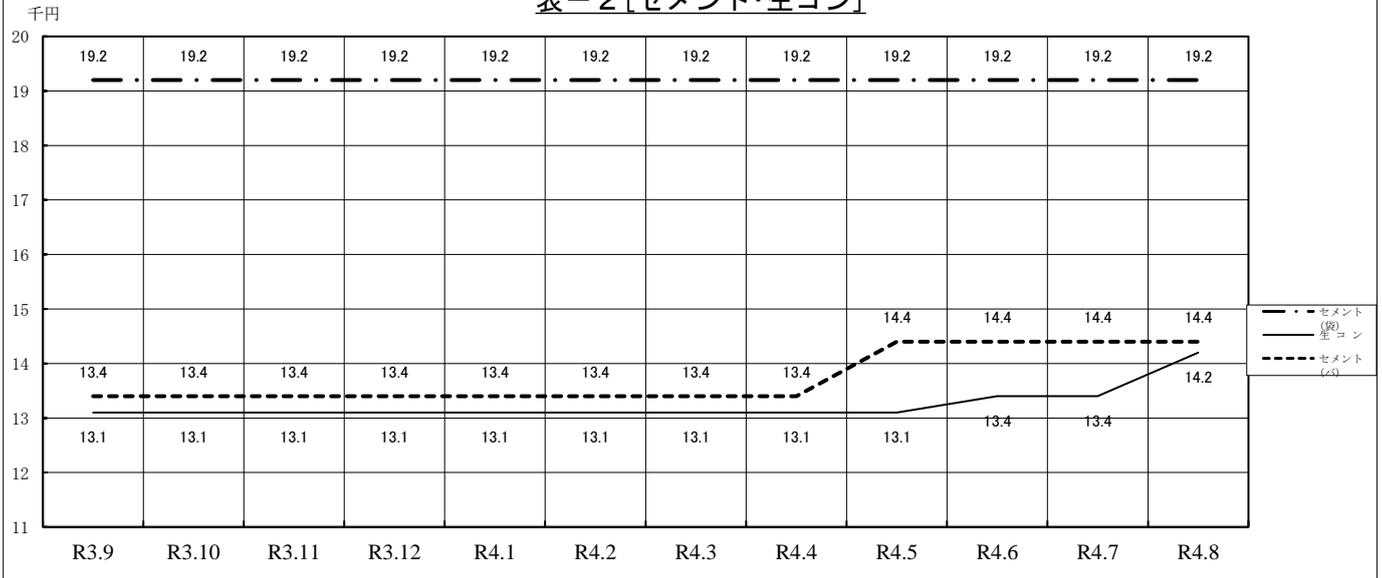
区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	16.4	6,160	16.4	6,160	16.4	6,160	16.4	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	13,600	15.3	16,000	3.2	14,200	5.7	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	0.0	4,700	0.0	4,200	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	3,300	0.0	3,133	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	117,000	-3.3	117,000	-3.3	117,000	-3.3	117,000	-3.3	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	120,000	-3.2	120,000	-3.2	120,000	-3.2	120,000	-3.2	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	118.0	-2.5	118.0	-2.5	118.0	-2.5	118.0	-2.5	118,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	79.0	-3.7	79.0	-3.7	79.0	-3.7	79.0	-3.7	79,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,250	4.7	2,250	4.7	2,250	4.7	2,250	4.7	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	128,000	1.6	128,000	1.6	128,000	1.6	128,000	1.6	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

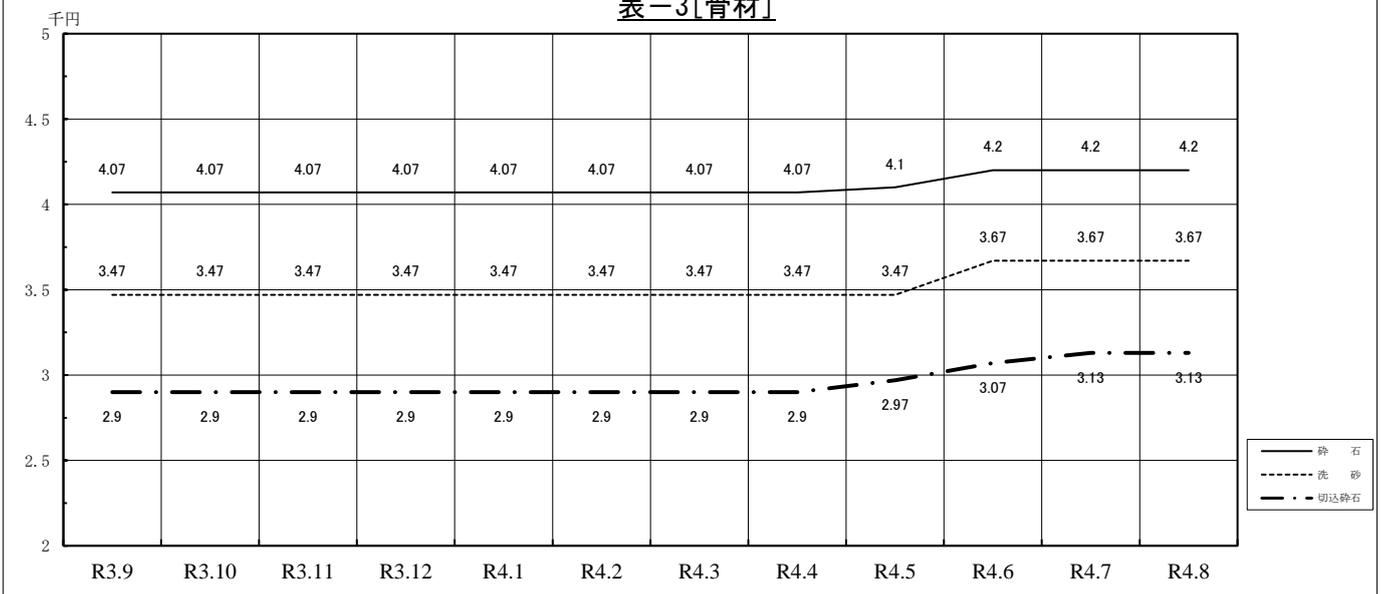
表一 [小型棒鋼・H形鋼]



表二 [セメント・生コン]



表三 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

